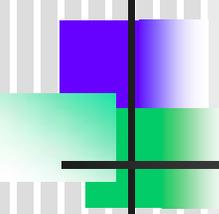
A decorative graphic consisting of a vertical black line and a horizontal black line intersecting at the origin. The top-left quadrant is filled with a purple-to-white gradient, and the bottom-left quadrant is filled with a green-to-white gradient.

XBRL2.0技術的内容と解説

加藤 上直

zone@brown.plala.or.jp

A decorative graphic consisting of a purple square and a green square overlapping, with a black crosshair.

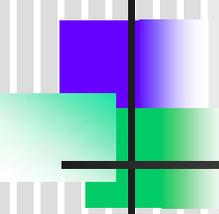
XBRLとは

- 財務情報をXMLにて記述した言語
- 2001年12月XBRL2.0が策定
 - XMLSchema1.0を採用
 - XBRL1.0はDTDを採用
 - XLink1.0を採用

XBRL2.0技術的内容(構成)

- タクソノミー
 - XMLSchema1.0採用
 - タグ名とデータ型を記述
 - XLink1.0の採用
 - 5種類の機能(名称、計算、表示、定義、参照)

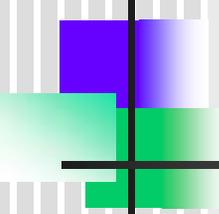
- インスタンス
 - コンテキスト
 - Namespace1.0

A decorative graphic consisting of a purple square and a green square overlapping, with a black crosshair-like structure.

タクソノミー

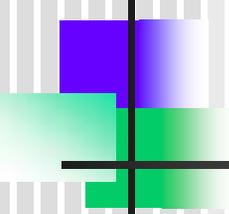
- 財務諸表の雛形
 - 貸借対照表、損益計算書、利益処分案など財務諸表

- 複数のファイルで構成されている
 - XMLSchemaファイル
 - 5種類のXLinkファイル

A decorative graphic consisting of a purple square and a green square overlapping, with a black crosshair-like structure.

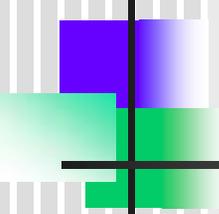
XMLSchema1.0

- 要素名とデータ型を指定
 - XMLSchemaファイルではスキーマの定義(タグの親子関係 等)はしていない
- Namespaceを指定
- スキーマ(要素の親子関係)は定義していない

A decorative graphic consisting of a purple square and a green square overlapping, with a black crosshair.

XLink1.0

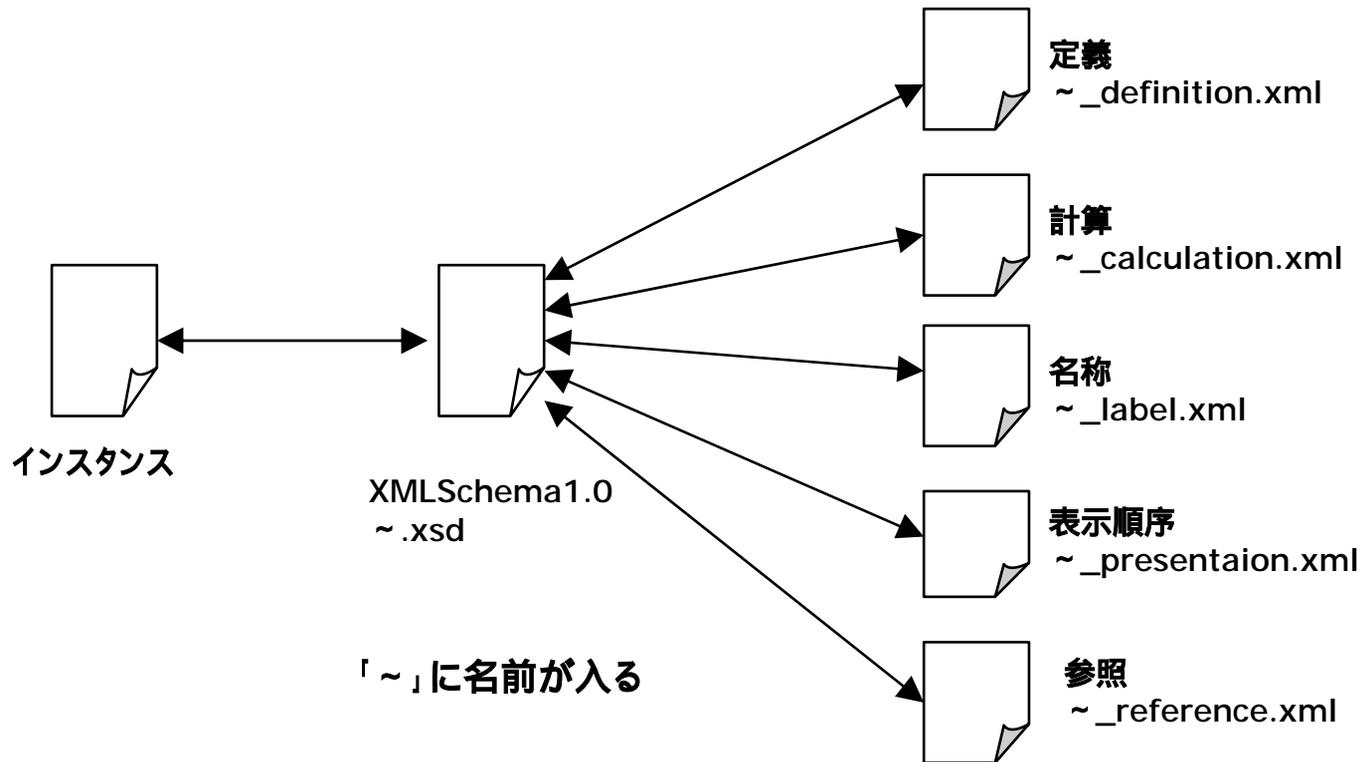
- 5つの情報を記述
 - 定義、計算、名称、表示順序、参照
- XMLSchemaファイルとそれぞれ連携している。
- 2001年6月にW3Cによって勧告



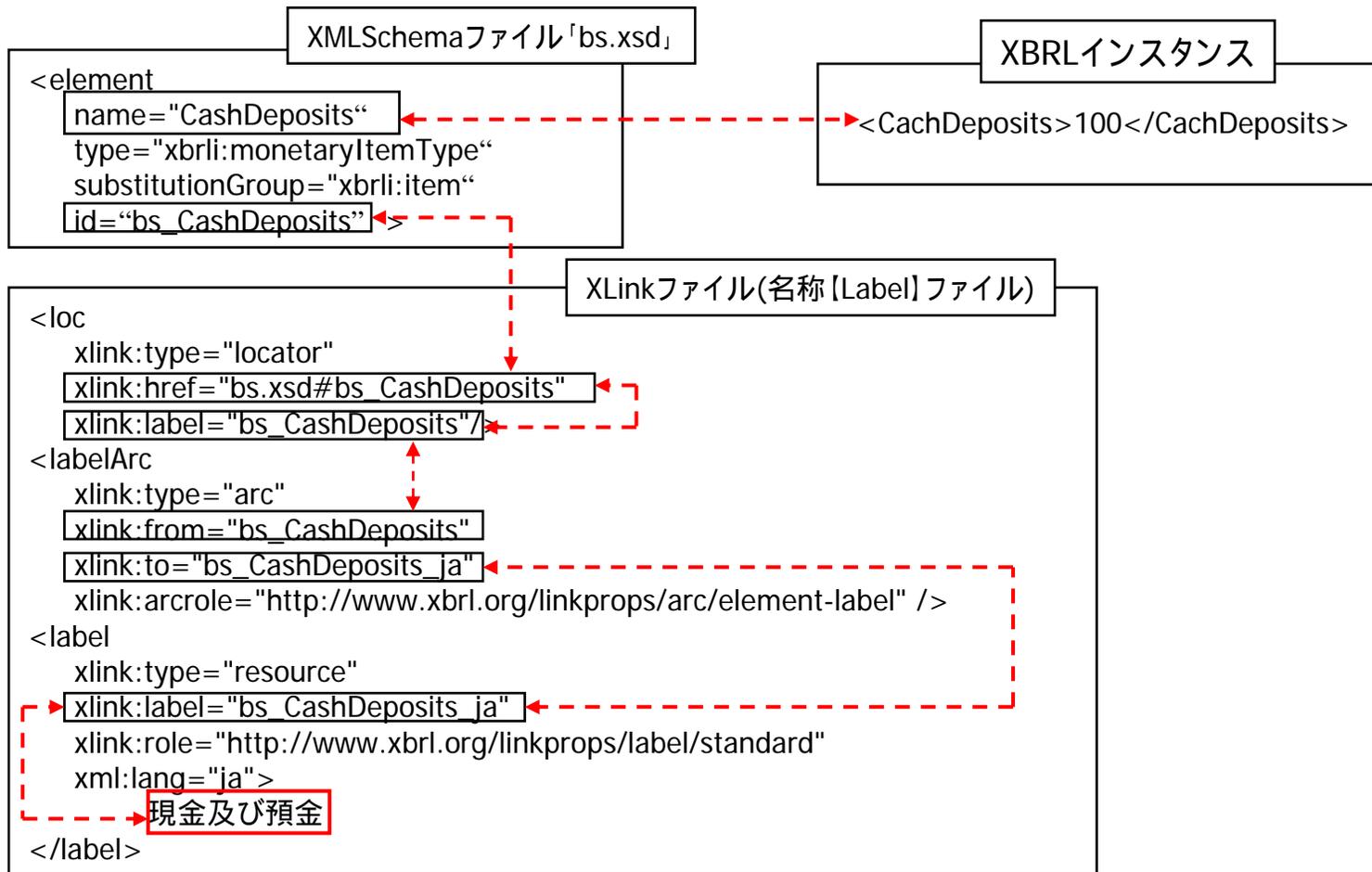
XLink1.0

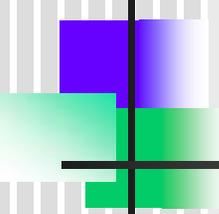
- 定義リンク
 - タグの親子関係の情報を記述
- 計算リンク
 - 勘定科目の計算情報(要素の足し引き)を記述
- 名称リンク
 - 勘定科目名を記述
- 表示順序
 - 勘定科目の表示順序を記述
- 参照リンク
 - 参照情報を記述

XMLSchemaとXLinkの関係



インスタンスとXMLSchemaとXLinkのリンク関係



A decorative graphic consisting of a purple square, a green square, and a black crosshair.

インスタンスの記述方法

- Namespaceの活用
- コンテキストの活用
- XBRLインスタンスの記述は階層構造は無い
 - 階層構造があるのはコンテキストのみ

Namespace1.0の活用

カテゴリー	対象書類	Namespace
基本財務諸表	貸借対照表	jp-bs
	損益計算書	jp-pl
	製造原価明細書	jp-sc
	キャッシュフロー報告書	jp-cf
	利益処分計算書	jp-sr
	連結余剰金計算書	jp-csr
制度別タクソノミー	有価証券報告書	jp-sa
	半期報告書	jp-sh
	税務用	jp-ta
	商法計算書類用	jp-ca

コンテキストの必要性

インスタンス内

```
<jp-pl:Sales>3000000</jp-pl:Sales>
```

Sales = 「売上高」なので3,000,000は売上高を意味している！！

通貨単位は円？ \$？ ユーロ？

売り上げの期間はいつ？
昨年？ 今年？ 上期？ 先月？

「売上高」が3,000,000ということは解るのだが、
その他の付属情報が解らない。

コンテキスト

```
<jp-pl:Sales numericContext="c1">3000000</jp-pl:Sales>
```

⋮

コンテキスト id="c1" を参照！！

コンテキスト

```
<numericContext id="c1" precision="14" cwa="false">
  <entity>
    <identifier scheme="http://www.SampleCompany.com" />
  </entity>
  <period>
    <startDate>2003-04-01</startDate>
    <endDate>2004-03-31</endDate>
  </period>
  <unit>
    <measure>ISO4217:JPY</measure>
  </unit>
</numericContext>
```

日付 / 期間を指定
2003年4月1日
~ 2004年3月31日

通貨の単位を指定
ISO 4 2 1 7 にて指定
JPYは日本円を意味している

SampleCompany社の2003年4月1日 ~ 2004年3月31日の売り上げは3,000,000円である。

コンテキスト内の要素

numericContext	数値データを意味する
nonNumericContext	非数値データを意味する

タグ名	子タグ名	意味
Entity	identifier	データに関する団体の識別子。 早い話、会社名 等が入る。
Segment		セグメント情報を記述する。
	name	セグメント情報の名前を記述する。
scenario		シナリオ情報を記述する 実績、修正、見積り 等を意味する。
	name	シナリオ情報の名前を記述する
period	startDate	開始日を意味する
	endDate	終了日を意味する
	instant	時点を意味する
	duration	期間を意味する
	forever	永遠を意味する
unit	measure	通貨単位を定義する。 単位要素としてはISO4217標準通貨表記法を参照。 USD(米ドル)、EUR(ユーロ)、GBP(イギリスポンド)

XBRLインスタンスの記述例

```

<?xml version="1.0" encoding="Shift_Jis"?>
<xbri:group>

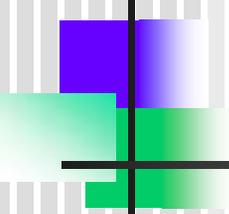
  <!--現金及び預金-->
  <jp-bs:CashDeposits numericContext="c1">3487000000000</jp-bs:CashDeposits>
  <!--売掛金-->
  <jp-bs:AccountsReceivableTradeGross numericContext="c1">1523000000</jp-bs:AccountsReceivableTradeGross>
  <!--有価証券-->
  <jp-bs:MarketableSecurities numericContext="c1">876993000000</jp-bs:MarketableSecurities>
  <!--棚卸資産-->
  <jp-bs:Inventories numericContext="c1">24981000000</jp-bs:Inventories>
  <!--土地-->
  <jp-bs:Land numericContext="c1">291000000000</jp-bs:Land>

  ⋮

  <xbri:numericContext id="c1" precision="10" cwa="true">
    <xbri:entity>
      <xbri:identifier scheme="" />
    </xbri:entity>
    <xbri:period>
      <xbri:instant>2003-03-31</xbri:instant>
    </xbri:period>
    <xbri:unit>
      <xbri:measure>ISO4217:JPY</xbri:measure>
    </xbri:unit>
  </xbri:numericContext>
</xbri:group>

```

(注)実際のXBRLインスタンスはもっと多くの属性(Namespaceの指定等)が付いている



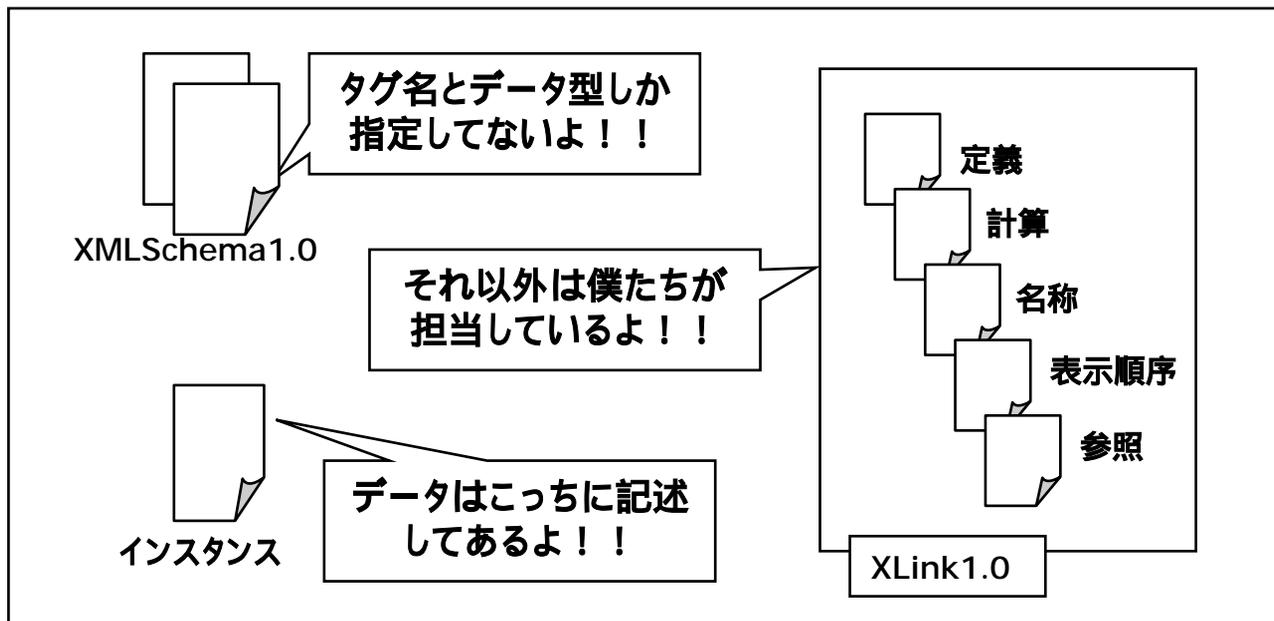
インスタンス記述の注意点

- 3桁区切りカンマはインスタンス内には付けない
 - 1000000[インスタンス内]
 - 1,000,000[表示]

- 単位の省略の記述はしない
 - 10000000000[インスタンス内]
 - 1,000[表示:(単位 百万)]

会計学の観点

- なぜXBRLはこのような規格になったのか？



なぜこんなにもファイルが必要なの？
通常DTDやXMLSchemaにスキーマ定義してない？

損益計算書 (P/L) の中身

売上高

- 売上原価

売上総利益

- 販売費及び一般管理費
(販管費)

営業利益

+ 営業外収益
- 営業外費用

経常利益

経常利益

+ 特別利益
- 特別損失

税引き前当期純利益

- 税金等

当期純利益

棚卸減耗費の会計処理(1)

A商事という小売業の会社が、一つ100円の商品を1,000個仕入れました。
その後この商品の一つ150円で900個販売しました。

ちなみに、この場合
売上高は135,000円【150(売価) × 900】、
売上原価は90,000円【100(原価) × 900】、
売上総利益は45,000円【売上高 - 売上原価】となります。



cf 損益計算書一部

売上高	135,000
- 売上原価	90,000
<hr/>	
売上総利益	45,000

残りの在庫の商品は100個のはず！！



倉庫に行って数えたら90個しか無かったよ！！

店に飾っていたサンプルが壊れて捨てたよ

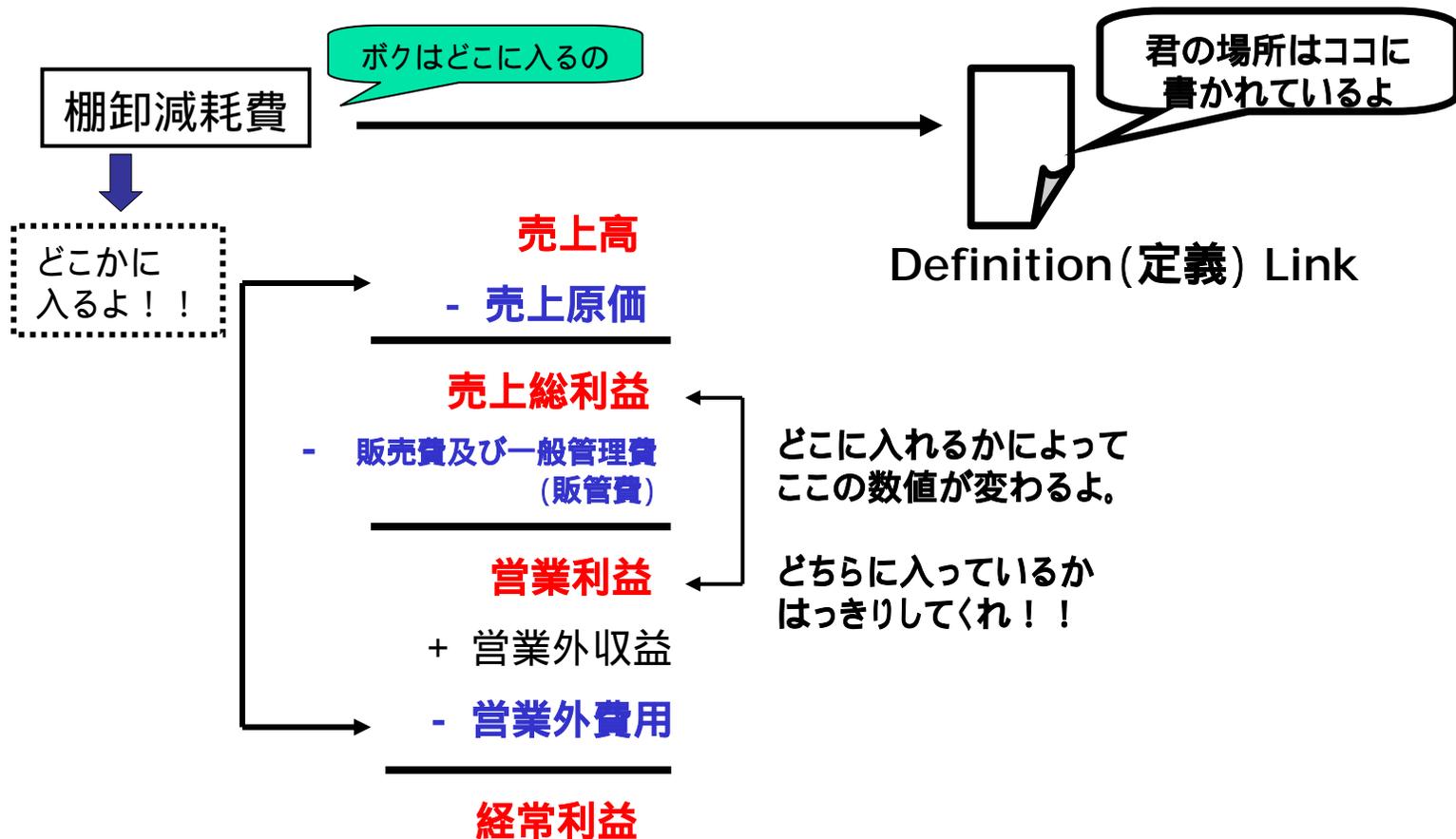
100【帳簿上の在庫】 - 90【実際の在庫】 = 10

試食品としてお客さんに食べてもらったよ

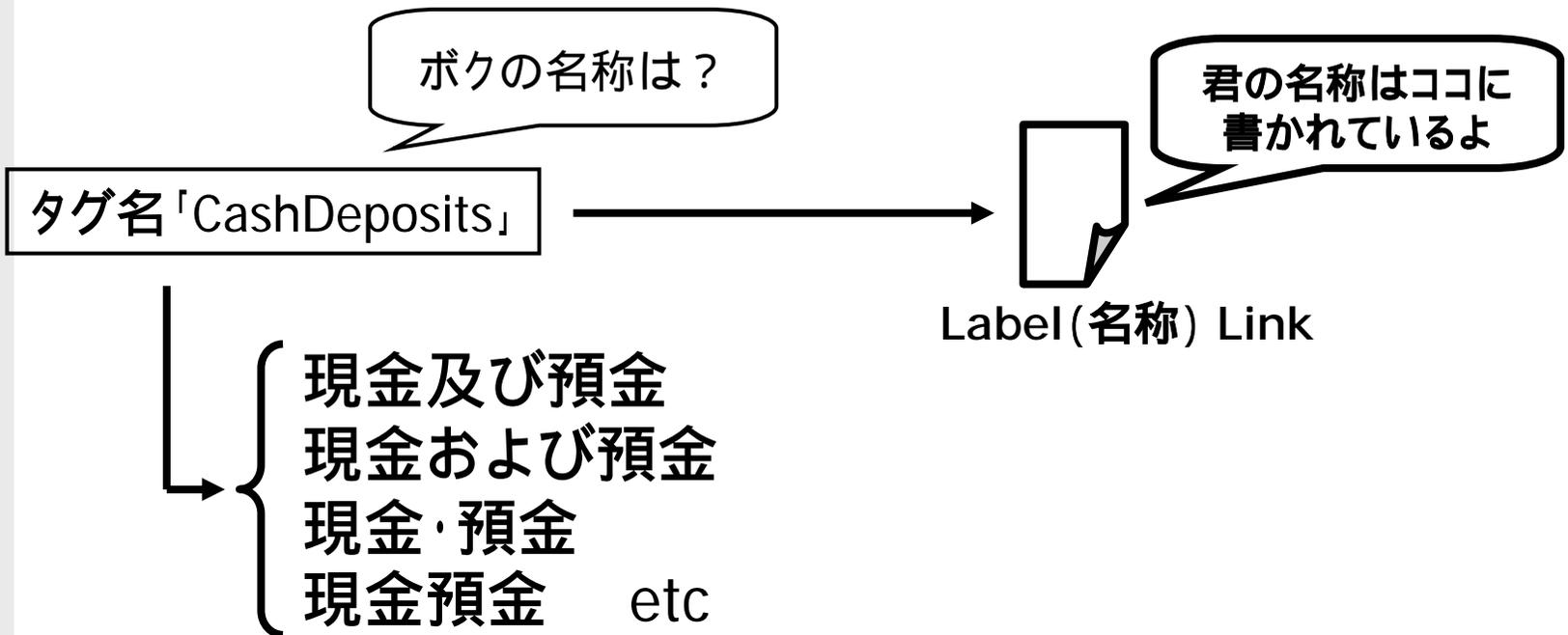


棚卸減耗費

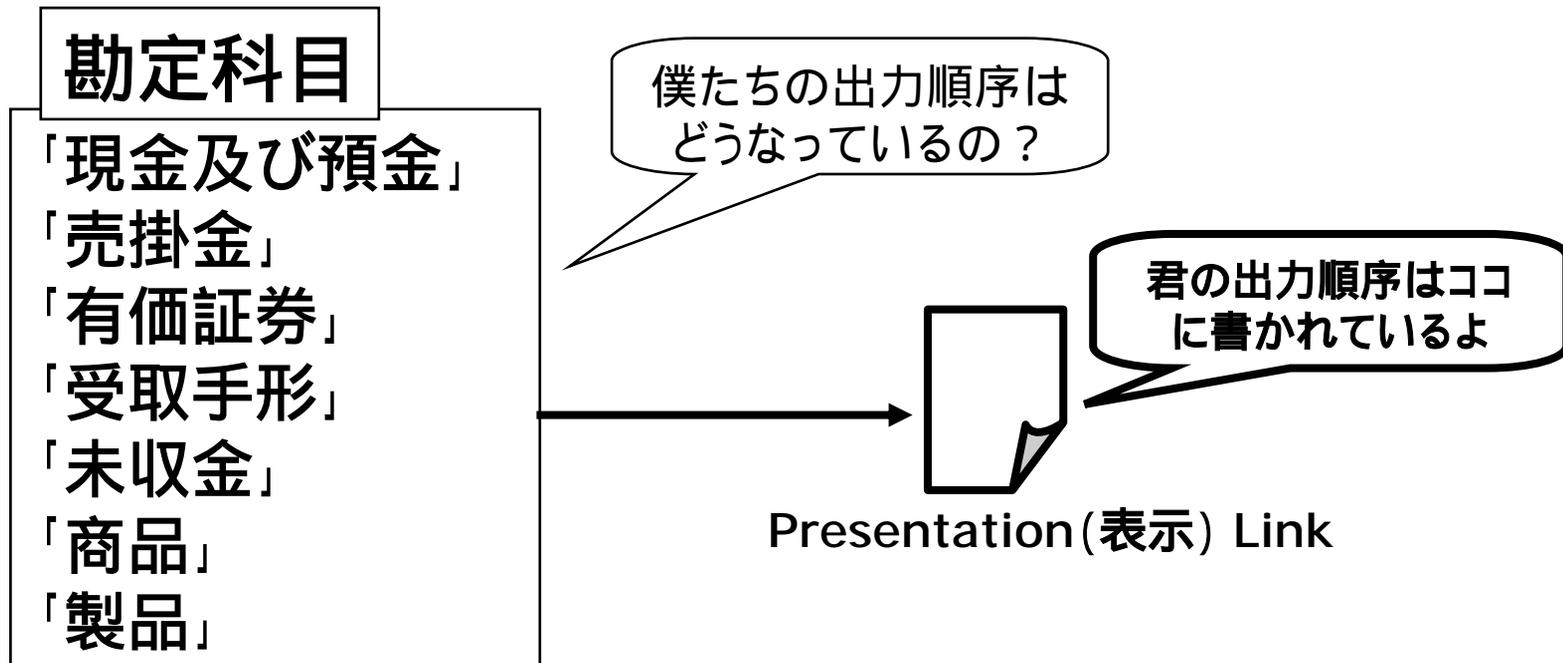
棚卸減耗費の会計処理(2)



勘定科目の名称は様々

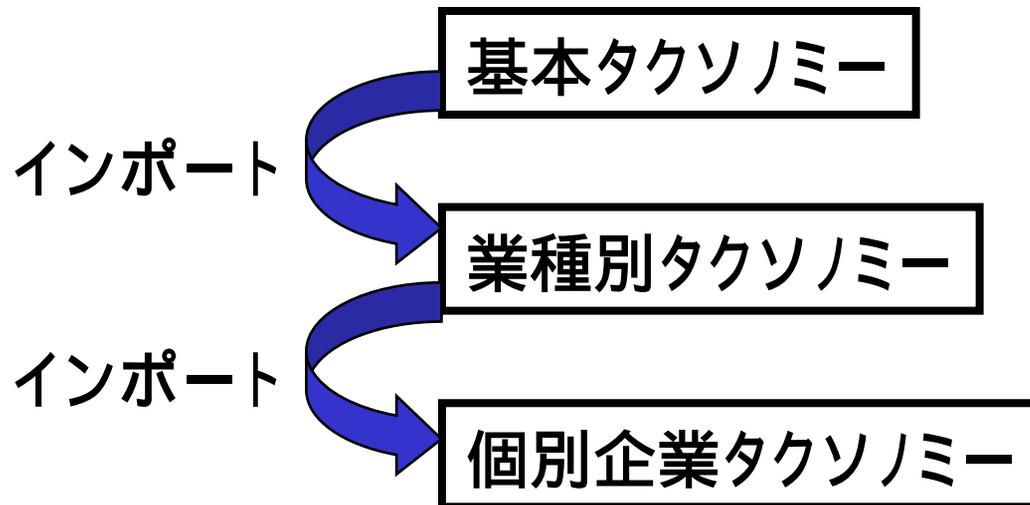


表示順序は様々



XBRL (タクソノミー) 活用方法

- 基本タクソノミーより業種別、個別企業タクソノミーをインポートして用いる



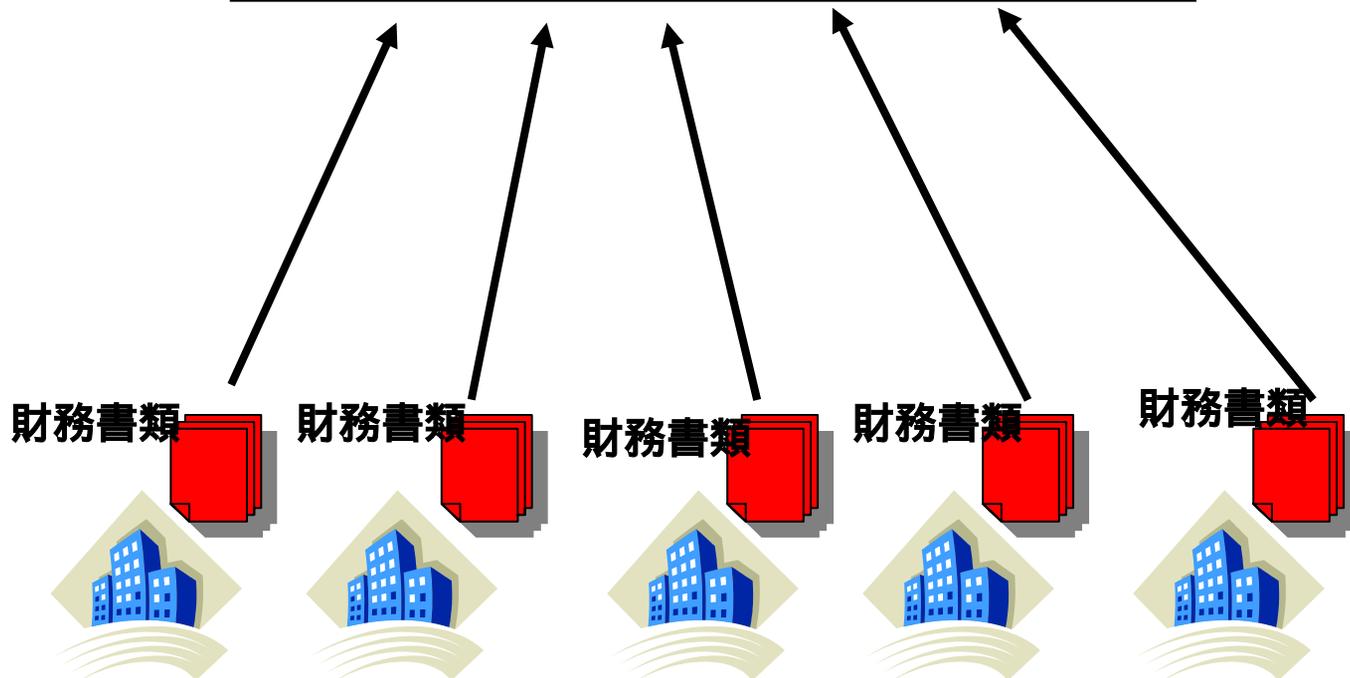
XBRL技術内容

- 以下の規格を採用している。
 - XMLSchema1.0,XLink1.0,Namespace1.0
- XBRLを会計の観点より考察
 - 会計処理が業界、企業によって異なり複雑化している
- タクソノミーは基本タクソノミー、業界タクソノミーより拡張して用いる。
- バージョンについて
 - 現在の主流は2.0
 - 2003年12月に「2.1」が策定

XBRLの活用が期待される分野 1

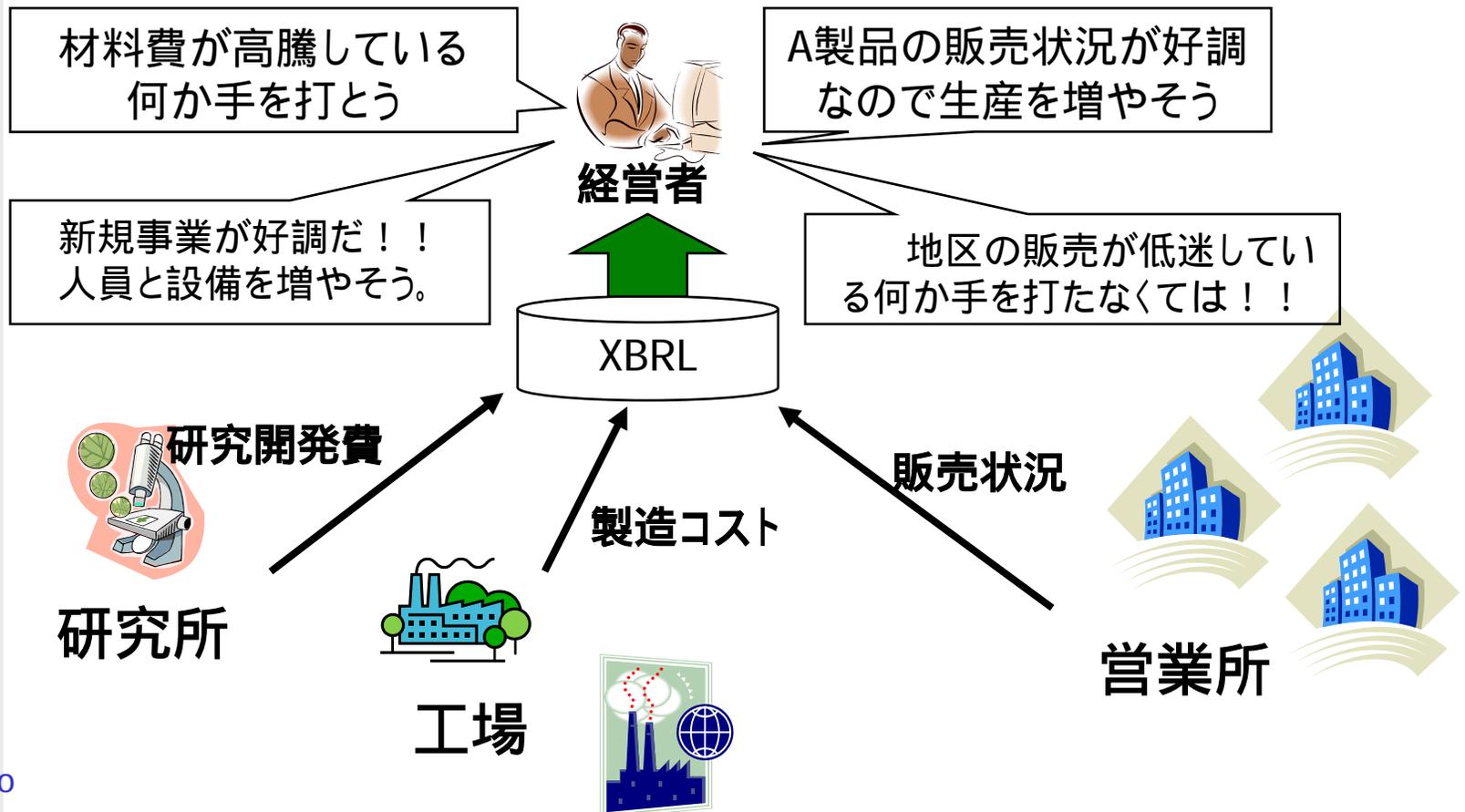
数多くの財務書類を扱う場所

銀行・投資家・証券取引所・税務署



XBRLの活用が期待される分野2

企業の活動状態を素早く経営判断に反映させる



XBRLの活用が期待される分野3

企業は様々な財務書類を作成しなければならない。

